

国名	インドネシア
<p>公的年金の体系 (2020年現在)</p> <p>*2029年までにTASPEN, ASABRIはBPJSへ統合予定</p>	
被保険者	<p>公務員 (TASPEN) : 中央区及び自治区の公務員, 州当局職員, 国鉄職員等</p> <p>軍人 (ASABRI) : インドネシア国軍及び警察官 (1989年以降退職者)</p> <p>民間被用者 (BPJS) : インドネシアで6カ月以上就労する外国人を含む全労働者</p>
保険料率 (拠出率)	<p>公務員 (TASPEN) 年金: 給与の4.75%, 退職金: 給与の3.25% (加入者負担)</p> <p>軍人 (ASABRI) 年金: 全額国家予算, 退職金: 給与の3.25% (加入者負担)</p> <p>民間被用者 (BPJS) 年金: 事業主が給与の2%, 従業員1%, 退職金: 事業主3.7%, 従業員2%, 労働災害保障: 事業主0.24%~1.74%, 死亡保障: 事業主0.3%</p>
支給開始年齢	<p>公務員 (TASPEN) 58歳 (教師, 判事は60歳) (20年以上加入者は50歳からの早期退職年金あり)</p> <p>軍人 (ASABRI) 58歳</p> <p>民間被用者 (BPJS) 57歳 (2019年1月現在) (15年以上), 障害, 死亡, 失業, 海外移住による支払い可</p>
給付の構造	<p>公務員 (TASPEN) 年金: <math>0.025 \times \text{加入年数} \times \text{最終給与}</math> 退職金: <math>0.6 \times \text{加入年数} \times \text{最終給与}</math></p> <p>軍人 (ASABRI) 年金: <math>0.025 \times \text{加入年数} \times \text{最終給与}</math> (配偶者や子への加算あり) 退職金: <math>0.6 \times \text{加入年数} \times \text{最終給与}</math></p> <p>民間被用者 (BPJS) 年金: <math>0.01 \times (\text{勤続年数} \div 12) \times \text{平均賃金} \times \text{インフレ率}</math> 退職金: 積立金の元利合計</p>
所得再分配	<p>公務員 (TASPEN) あり</p> <p>軍人 (ASABRI) あり</p> <p>民間被用者 (BPJS) あり</p>
公的年金の財政方式	<p>公務員 (TASPEN) 賦課方式</p> <p>軍人 (ASABRI) 賦課方式</p> <p>民間被用者 (BPJS) 賦課方式 (年金) + 積立方式 (退職金)</p>
国庫負担	<p>公務員 (TASPEN) あり (財務省令により2009年以降, 年金は全額国家予算から給付)</p> <p>軍人 (ASABRI) あり (年金は全額国庫予算から給付)</p> <p>民間被用者 (BPJS) あり (年金については国庫負担あり, 退職金は国庫負担なし)</p>
年金制度における最低保障	なし
無年金者への措置	<p>インドネシアでは家族で扶養する意識が強く, 高齢者の扶養は基本的には家族の絆に任されている。なお, 身寄りのない高齢者に対しては福祉サービスが提供される。</p>
公的年金と私的年金	<p>1992年の法整備を契機に大企業や外資系企業を中心に企業年金が少しずつ普及してきている</p>
国民に対する個人年金情報の提供	<p>Webサイト上で積立状況等を照会できる機能あり</p>

(菅谷和宏・三菱UFJ信託銀行株式会社年金コンサルティング部 上席研究員)